

令和7年6月6日

1. 出席議員

1 番	釘 尾	勢津子
2 番	宮 崎	幸 宏
3 番	笠 継	健 吾
4 番	中 村	日出代
5 番	池 田	廣 志
6 番	杉 原	元 博
7 番	樋 口	作 二
8 番	中 村	一 堯

9 番	松 田	義 太
10 番	勝 屋	弘 貞
11 番	角 田	一 美
12 番	伊 東	茂
13 番	福 井	正
14 番	松 尾	征 子
15 番	中 村	和 典
16 番	徳 村	博 紀

2. 欠席議員

な し

3. 本会議に出席した事務局職員

事 務 局 長	白仁田	和 哉
事務局長補佐	中 島	圭 太
議事管理係長	松 本	則 子

4. 地方自治法第121条により出席した者

市	長	松	尾	勝	利
副	市長	鳥	飼	広	敬
教	育	吉	牟田	一	広
政	策 総 務 部 長	川	原	逸	生
市	民部長兼福祉事務所長	岩	下	善	孝
産	業 部 長	山	崎	公	和
建	設 環 境 部 長	山	浦	康	則
会	計 管 理 者 兼 会 計 課 長	藤	家		隆
総	務 課 長	嶋	江	克	彰
総	務課参事兼選挙管理委員会事務局長	寺	岡	弘	樹
人	権・同和対策課長	山	崎	智	香子
政	策調整課長兼ゼロカーボン推進室長	中	村	祐	介
政	策調整監兼DX推進室長	三	ヶ 島	正	和
財	政 課 長	村	田	秀	哲
財	政 課 参 事	森		隆	文
公	共施設マネジメント室長	中	尾	勝	徳
市	民 課 長	幸	尾	か	おる
税	務 課 長	山	口		洋
保	険 健 康 課 長	染	川	康	輔
福	祉 課 長	高	本	智	子
産	業 支 援 課 長	松	丸	環	大
商	工 観 光 課 長	中	尾	美	佐子
農	林 水 産 課 長	星	野	晃	希
農	業 委 員 会 事 務 局 長	高	本	将	行
建	設 住 宅 課 長	江	島	裕	臣
建	設 住 宅 課 参 事	手	島	秀	康
都	市計画課長兼鹿島駅前周辺整備推進室長	堀		正	和
環	境下水道課長兼ラムサール条約推進室長	山	口	秀	樹
環	境 下 水 道 課 参 事	橋	川	宜	明
水	道 課 長	中	村	浩	一郎
教	育次長兼教育総務課長	江	頭	憲	和
生	涯学習課長兼中央公民館長	山	口	徹	也

令和7年6月6日（金）議事日程

開 会・開 議（午前10時）

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案の一括上程（市長の提案理由説明）
-

午前10時 開会

○議長（徳村博紀君）

皆さんおはようございます。本日は開会前に、12月定例会、3月定例会に引き続き3回目の議場コンサートを開催いたしました。鹿島うたごえ合唱団の皆様にはすばらしい歌声を披露いただきましたことを、議会を代表してお礼を申し上げます。これを機に、より一層議会が市民の皆様の身近な存在となるように議員一同努めてまいりたいと思います。

それでは、開議に先立ちまして申し上げます。

先例等申合せ事項で、議会における服装は5月1日から10月31日までの期間については、議場ではノーネクタイのクールビズ対応としたいと思います。

なお、上着の脱衣については個人の裁量に任せたいと思います。

去る5月20日、全国市議会議長会第101回定期総会におきまして、鹿島市議会から3名の議員が表彰を受けられました。議員名と表彰内容を申し上げます。

杉原元博議員、議員10年表彰、樋口作二議員、議員10年表彰、私、徳村博紀、全国市議会議長会社会文教委員会委員感謝状。

ただいまから表彰状を伝達いたしますので、演壇の前をお願いいたします。

〔表彰状伝達〕

表 彰 状

鹿島市 杉 原 元 博 殿

あなたは市議会議員として10年市政の振興に努められその功績は著しいものがありますので第101回定期総会にあたり本会表彰規程によって表彰いたします

令和7年5月20日

全国市議会議長会

会長 丸 子 善 弘

代読。おめでとうございます。

〔拍手〕

表 彰 状

鹿島市 樋 口 作 二 殿

あなたは市議会議員として10年市政の振興に努められその功績は著しいものがありますので第101回定期総会にあたり本会表彰規程によって表彰いたします

令和7年5月20日

全国市議会議長会

会長 丸 子 善 弘

代読。おめでとうございます。

〔拍手〕

○副議長（中村和典君）

感 謝 状

鹿島市 徳 村 博 紀 殿

あなたは全国市議会議長会社会文教委員会委員として会務運営の重責にあたられ本会の使命達成に尽くされた功績は誠に顕著なものがありますので第101回定期総会にあたり深甚な感謝の意を表します

令和7年5月20日

全国市議会議長会

会長 丸 子 善 弘

代読。おめでとうございます。

〔拍手〕

○議長（徳村博紀君）

以上で表彰状の伝達式を終わります。

現在の出席議員は16名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから令和7年鹿島市議会6月定例会を開会いたします。

日程は、お手元の議事日程どおりといたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（徳村博紀君）

日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に1番釘尾勢津子議員、2番宮崎幸宏議員、3番笠継健吾議員を指名いた

します。

日程第２ 会期の決定

○議長（徳村博紀君）

次に、日程第２．会期の決定を議題といたします。

今期定例会の会期は、お手元の会期日程案のとおり、本日から６月２５日までの２０日間といたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（徳村博紀君）

御異議ないものと認めます。よって、会期は２０日間と決定いたしました。

この際、事務局長をして諸般の報告をいたさせます。白仁田事務局長。

○議会事務局長（白仁田和哉君）

諸般の報告をいたします。

まず、本日招集の６月定例会に市長から報告６件、議案４件の提出がありました。報告事項、議案番号及び議案名は、お手元に配付しております議案書の目次に記載のとおりであります。

次に、監査委員から令和６年度定期監査結果の報告及び令和６年度３月分の出納検査結果の報告がありましたので、その写しをお手元に配付いたしております。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第３ 議案の一括上程（市長の提案理由説明）

○議長（徳村博紀君）

次に、日程第３．議案の一括上程であります。

報告第１号から報告第６号までの報告６件及び議案第４７号から議案第５０号までの４議案を一括して上程いたします。

市長の提案理由の説明を求めます。松尾市長。

○市長（松尾勝利君）

皆さんおはようございます。先ほど開会前に議場コンサートが開催をされ、素晴らしい歌声を披露していただきました。ありがとうございます。

本日、ここに鹿島市議会令和７年６月定例会を招集し、諸案件について御審議をお願いするものですが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。

初めに、本市の取組が各方面から評価されていますので、御報告いたします。

まずは、鹿島市民文化ホールSAKURASが建築に関する２つの賞を受賞しました。令和６年度プレストレストコンクリート工学会賞（作品賞）と２０２５年日本建築学会作品選奨です。いずれも限られた空間を有効に活用した、もみ上げ席をはじめとした独創性が評価され、受賞

となっています。これらの受賞を励みに、さらに市民に親しまれる、まちの晴れ舞台となるよう、皆さんと一緒に盛り上げていきたいと考えています。

次に、肥前浜宿での官・学・民連携の取組が肥前浜宿の歴史的景観保存とまちづくりとして、日本建築学会九州支部の2025年度建築九州賞（業績賞）を受賞しました。市としても、これまで以上に肥前浜宿で実践されている歴史的景観を守りながら自発の地域づくりを支援していきます。

また、鹿島市出身の平河悠選手が初めて男子サッカーの日本A代表に選出され、昨夜行われましたFIFAワールドカップアジア予選に出場されました。世界を舞台に活躍される姿は私たちにとって誇りであり、励みになります。平河選手のさらなる飛躍を期待しています。

次に、災害への備えについて申し上げます。

いつ起きてもおかしくない自然災害に対しては、日頃からの備えが大変重要です。これからの出水期に備え、避難所で使用するパーティションや簡易トイレなど備蓄資材を増設し、避難環境の整備を図っていきます。

5月29日には鹿島市水防・防災合同会議を開催し、防災関係者で災害備蓄倉庫の確認や災害対策工事の現場を巡視するなど、安全対策の状況を確認したところです。

また、防災行政無線や県の情報発信システム、防災ネットあんあん、市の公式LINEでのひら市役所など、あらゆる手段を用いて市民の皆様迅速に防災情報を届けていきます。各家庭におかれましても、備蓄品の確保をはじめ、お近くの避難所や避難経路の確認など、市民の皆さん一人一人の日頃からの心構えと備えをお願いいたします。

市としましても、今後も安全で安心な生活ができるよう、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

次に、肥前鹿島駅周辺整備の近況について申し上げます。

いよいよこの夏から肥前鹿島駅周辺整備工事がスタートし、市民の皆様にも目に見える形で動き出します。今年度は主に新駅舎の造成工事、仮設駐輪場設置、市営駐車場のスロープ工事などが予定されており、県や関係者と連携しながら準備を進めているところです。この整備により、鹿島の魅力度を高め、肥前鹿島駅がエリアの拠点として、人が集い、町なかへ人の流れが広がっていくような仕組みを考えています。

また、7月2日にはピオで新駅舎について語り合う「むしろこれから鹿島・太良フォーラム」を開催しますので、ぜひお越しいただきたいと思います。

今後も多くの方に駅から始まるまちづくりに関心を持っていただけるよう、情報発信に努めていきます。

また、JR長崎本線は本年度で上下分離から3年が経過します。「かささぎでGo!」キャンペーンをはじめとした市独自の利用促進策に取り組んでいくとともに、関係市町と連携し、様々な機会を利用して長崎本線の利便性確保、利用促進に取り組んでいきます。

次に、本市を支える社会資本整備について申し上げます。

本年３月に、佐賀市から太良町までの有明海沿岸を通る道路が「ありあけ海道～トレジャーロード～」として国土交通省の日本風景街道九州ルートに新たに登録されました。風景街道とは、地域住民などが主体となって行政と連携し、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を生かした美しい景観づくりや、活力ある地域づくり、観光振興に関する取組です。今回の登録は、主体であるＮＰＯ、道の駅、観光協会などの民間18団体と行政８団体との連携が評価されたものです。

このような取組は、道路整備を進めていく上で大きな力となり、支えとなります。さらに協力、連携を深め、有明海沿岸道路の早期整備や、有明海沿岸道路（鹿島－諫早間）及び国道498号（鹿島－武雄間）の早期事業着手の実現に向け、整備の必要性や地元の熱意を国や県に強く訴えていきます。

次に、公共施設の最適化に向けた取組について申し上げます。

本市では、これからも安全・安心な行政サービスを提供していくため、公共施設の整備や長寿命化、市民生活の基盤となる道路などのインフラ資産の維持、保全に取り組んでいきます。

持続可能な行政サービスの実現には、変化する社会情勢や住民ニーズに柔軟に対応しながら、長期的視点に立った公共施設の最適な配置も重要です。この取組を全庁的に推進するため、本年４月に公共施設マネジメント室を新設しました。現在、改築に向けた検討を行っている学校給食センター基本構想の素案作成をはじめ、今後は全ての施設について集約化も視野に入れたプランの作成に取り組んでいきます。

行政サービスの水準を保ちながら、公共施設マネジメントの取組を着実に進めることで、鹿島らしい未来へのまちづくりへつなげていきます。

次に、地域の魅力を内外に発信し、地域ブランド力を高めるシティプロモーションの取組について申し上げます。

昨年度から行ってきた地域への誇りと愛着を深めるシビックプライド醸成の取組から、市民と行政が対話の中で地域課題へのアイデアや解決策を見いだす市民共創型のシティプロモーションへと展開するため、今年度は誰にでも分かりやすく、本市の魅力を共有できるよう、「鹿島市といえば」を言語化、図式化して表現するロゴとキャッチコピーを作成します。市民や鹿島市と関わりのある皆さんと共に、鹿島とはどんなところかを改めて考え、整理し、様々な声やアイデアを集結し、市民共創のプロジェクトとして取り組んでいきます。

次に、デジタルトランスフォーメーションの推進について申し上げます。

本市では、デジタルを活用して、行かない・書かない・待たない窓口を推進し、市民の利便性向上に取り組んでいます。市役所に行かずに、スマートフォンのアプリ一つで手続きが完了し、すぐに必要な情報を取得できるてのひら市役所に加え、本年４月には、インターネット

ト上から都市計画図など市役所にある様々な地理情報をいつでも取得できるデジタルマップ、かしまっぷサービスを始めました。また、市役所に行かずに各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスのさらなる利用拡大を図るため、本年7月から来年3月31日までの間、コンビニなどで証明書を発行する際の手数料を現行の250円から10円とする条例の改正案を本定例会に提案しています。市民の皆さんには、この機会に御利用いただき、便利さを実感していただきたいと思います。

次に、企業誘致の取組について申し上げます。

昨年11月にオープンし、サテライトオフィスの企業誘致に取り組んでいるJUJIROビルは、5つのサテライトオフィスが全て埋まりました。入居された企業では新たに4人が採用され、うち3人は移住者となっており、いよいよ鹿島市での事業展開が本格化していくものと期待しています。今後もさらなる企業の誘致を推進するとともに、進出した企業が鹿島市で円滑に事業を展開することができるよう、地域の方や地元企業との連携を支援し、地域の活性化を目指していきます。

次に、鹿島産品の販路拡大の取組について申し上げます。

地域資源を生かした鹿島産品については、東京や大阪、福岡など大都市圏での物産フェアや商談会を中心として販路拡大を図っているところです。事業者の皆様のものづくりへのこだわりや思いが込められている鹿島産品は好評で、ふるさと納税の返礼品としても全国の方々に選んでいただいております。昨年度のふるさと納税は前年度と比べ1.5倍の15億円を超える寄附をいただきました。魅力ある鹿島産品の発信をさらに強化し、本市へ訪れるきっかけや鹿島ファンがより一層増えるよう、引き続き取り組んでいきます。

現在、JR武雄温泉駅構内で鹿島フェアを7月末まで開催しています。11月には新たに東京都庁での物産フェアも予定しており、首都圏でのPRも強化し、新規開拓や販路拡大につなげ、地域ブランドの向上や地域経済の活性化を図っていきます。

次に、第1次産業の取組と有明海再生に向けた取組について申し上げます。

鹿島市沖での昨シーズンのノリ生産枚数は9,700万枚、生産金額は2,350,000千円となり、4年連続で1億枚に届かなかったものの、全国的な品薄による単価高騰のため、生産金額は前年より約7割増加しました。海況については、秋芽ノリはダムやため池からの放流の効果もあり、やや改善したものの、冷凍ノリは前年同様厳しい状況となりました。ノリ養殖期間中は、依然として少雨や赤潮の影響による栄養塩不足が続く状況ですが、本年度から有明海再生の加速化対策として、二枚貝類の回復による海域環境の改善などの取組が予定されています。市としても、関係機関と協議、連携しながら、引き続き漁場環境の改善に取り組んでいきます。

また、連日の報道等で皆様の関心も高いと思われます米の状況について申し上げます。

既に令和7年産の田植が山手のほうから始まっています。本年産は例年より増産するよう

鹿島市農業再生協議会で計画されており、今後も関係機関と連携し、米の適正生産に努めていきます。

国においては農政改革の動きなども取り沙汰されていますので、注視しながら、市として、米の生産と消費に対する必要な支援を遅滞なく取り組んでいきます。

以上、6月定例会の開会に当たり、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げました。今後とも市民の皆様並びに議員の皆様のさらなる御理解と御協力をお願い申し上げます。

それでは、提案する案件について、その概要を説明します。

議案は、報告6件、改正条例制定3件、補正予算1件の合計10件です。このうちの主な議案について申し上げます。

初めに、議案第50号 令和7年度鹿島市一般会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、予算の総額に163,057千円を追加し、補正後の総額を16,738,057千円とするものです。

歳入については、事業の決定や追加などに伴う国庫支出金などのほか、個人様などからいただきました寄附金などを計上しています。

歳出の主な事業については、地方に関心がある都市部などの人と地域を結び、連携することで、地域貢献や魅力再発見につなげ、交流定住人口の創出を目指す新たな移住・定住・交流推進支援事業に取り組めます。

また、公共交通の再構築を見据え、持続可能な公共交通の検証や分析を地域の皆様と取り組む公共交通リ・デザイン人材育成事業に新たに取り組めます。

このほか、本年3月に制定しました鹿島市手話言語の理解及び普及促進に関する条例に基づき、手話の普及に取り組む障害者コミュニケーション支援事業や、物価高騰による子育て世帯へのさらなる支援として保育所等給食費支援事業、有明海再生に向けた本市独自事業として漁場環境改善対策事業などを計上しています。

次に、条例に関する議案について申し上げます。

まず、議案第49号 鹿島市手数料条例の一部を改正する条例の制定については、証明書のコンビニ交付サービスのさらなる利用拡大による市民の利便性向上を図るため、さきに申し上げました、コンビニなどで証明書を交付する際の発行手数料を期間限定で減額するものです。

次に、議案第47号 鹿島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例及び議案第48号 鹿島市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定については、それぞれ関連法の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

次に、報告事項について申し上げます。

報告第1号 令和6年度鹿島市一般会計継続費繰越計算書及び報告第4号 令和6年度鹿島市下水道事業会計継続費繰越計算書については、一般会計及び下水道事業会計において複数年度の継続事業に取り組んでいます。昨年度の継続費予算額に残額が生じ、本年度に繰り越して使用することとしたので、関係法令の規定により報告するものです。

最後に、報告第2号 令和6年度鹿島市一般会計繰越明許費繰越計算書、報告第3号 令和6年度鹿島市水道事業会計予算繰越計算書及び報告第5号 令和6年度鹿島市下水道事業会計予算繰越計算書については、一般会計、水道事業会計及び下水道事業会計において、昨年度の予算執行段階で諸般の事情により予算の一部を本年度に繰り越して使用することとしたので、それぞれの関係法令の規定に基づき報告するものです。

以上、提案する主な議案の概要について説明しましたが、詳細につきましては、御審議の際、担当部長、または課長が説明しますので、よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（徳村博紀君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

明7日から11日までの5日間は休会とし、次の会議は6月12日午前10時から開き、議案審議を行います。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時28分 散会